

# たきのうえ を思う

札幌市在住

鈴木 健三さん



昨年の大同窓会に参加させて頂き、このような文章を書く場を頂きましてありがとうございます。

私は生まれて（昭和二十六年）から高校卒業までの十八年間滝上で過ごし、その後すぐに訳あって札幌へ移り住みました。

滝上町は自然に恵まれていて、思い起こすと、印象に残っているのは当時通っていた滝上小学校での遠足で「滝上公園」に登ったことです。その頃の「滝上公園」は、車両用道路は下り専用道路はなく、砂利道の対面通行で、芝桜の規模も現在より

も、もっと小さかったと記憶しています。頂上に着いたときに当時の私はこんなにも高い所に登っていたのかと思いました。

働いている時は、忙しくしていたり、親も札幌にいた事もあり、正直に言うとな上の町の事を片時も忘れず思うという事はありませんでした。がこの年になり、昔の思い出を懐かしむ事が増えて、滝上に住んでいた事を思い出して、「あの頃行った場所は、今はどうなっているだろうか：機会があれば、ふるさとの地を巡りたい。」と想っていたところ、昨年のふるさと大同窓会の開催を知り、参加させて頂きました。

なつかしい学友と再会し、学校や神社の見学をさせて頂き、旭川からホテルへ向かう途中で現在の滝上公園を横目に見ました。テレビのCMなどでは拝見していたのですが、昔より公園自体がとてつもなくなっていて、舗装の道路もつき、整備がなされていると見受けました。

公園だけでなく街並みも変わっており、懐かしい半面どこか変わった

たことが少しだけさみしいようにも感じました。

同窓会を終えて、滝上の町についてよく気に掛けるようになりました。ニュースや天気予報で滝上の名前を耳にすると注意深く聞いたり、滝上町のホームページがパソコンで見られると聞き、息子に見せてもらいました。

春のサッカーの大会や子どもの自転車安全競技の記事などが載っており、今の滝上に住む人が私たちの故郷たきのうえを大切に思っているのがわかってきました。

今回の同窓会に参加して、機会があれば、また滝上の町を訪れたいという思いが湧いてきました。



今年の芝ざくら滝上公園の景色